

# 第1章 環境にやさしい企業であるためには

1992(平成4)年にブラジルで開かれた地球サミット以降、環境問題への対応が新たな展開をみせており、地球規模で考え、身近な視点から取り組むための施策が各国で総合的に行われるようになりました。

国では平成5年11月、環境保全に関する新しい理念を盛り込んだ「環境基本法」が制定されています。

本県においてもこうした新たな環境課題に対応するために、これまでの「石川県環境基本条例」、「石川県公害防止条例」、「石川県自然環境保全条例」等の分野毎に定められていた条例、要綱等を充実・整理・統合し、「ふるさと石川の環境を守り育てる条例(通称：ふるさと環境条例)」を平成16年3月に制定しました。平成17年3月には条例に盛り込んだ施策を具体化した「石川県環境総合計画」を策定し、令和2年3月には、国の動向等を踏まえ、ふるさと環境条例を改正し、新たな「石川県環境総合計画」を策定しました。

その後、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国の地球温暖化対策計画の改定など、本県の環境保全に関する状況が大きく変化したことから、令和4年9月に、ふるさと環境条例を改正するとともに、「石川県環境総合計画」を改定しました。

このような法律、条例、計画などは、持続可能な経済社会の実現のため、住民・行政・企業など社会の各主体の役割を明確にして、それぞれが自主的・積極的に環境保全活動に取り組むことを基本理念としています。

その中でも特に企業の果たす役割は重要であり、これからの企業に対しては、単に法律や条例の規制を守るだけでなく、事業活動等に伴う資源やエネルギーを自主的に節減することによって環境への負荷を減らしたり、環境ビジネスなどを通じて積極的に環境保全に貢献することなど、いわゆる「環境にやさしい企業」であることが求められています。

このような状況のもとで、国際標準化機構(ISO)では、1996(平成8)年10月に企業自らが環境保全に積極的に取り組んでいくための環境マネジメントシステムに関する国際規格「ISO14001」や、このシステムの適合性を監査し評価するためのガイドライン等を制定しています。

また、環境省では、中小事業者等が容易に環境配慮の取組を進めることができるよう「エコアクション21」を策定し、その普及を図っています。

本県においても、平成19年12月に「いしかわ事業者版環境ISO」、令和2年6月に「いしかわ工場・施設版環境ISO」を創設し、「ISO14001」や「エコアクション21」などへの入門編として取り組めるようにしています。

また、企業が住民や行政などとパートナーシップを築くための手段の一つとして、自社の環境マネジメントシステムや環境会計導入等の環境保全活動を取りまとめた「環境報告書」の作成・公表が期待されており、環境省では、そのための各種手引きを作成しています。

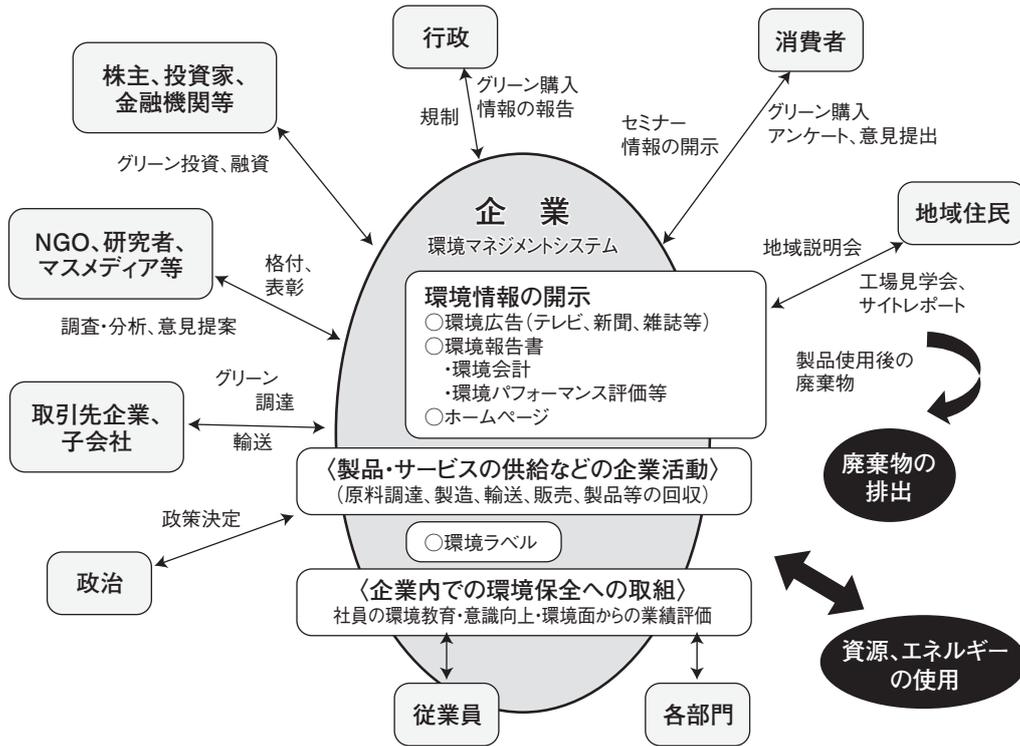
さらに、平成20年からは、市場メカニズムを活用し、最小のコストで温室効果ガスを削減できるとされる、「国内クレジット制度<sup>(※)</sup>」等の国内排出量取引制度が開始されています。

以下では、このような環境にやさしい企業になるための各種手法を紹介していきます。

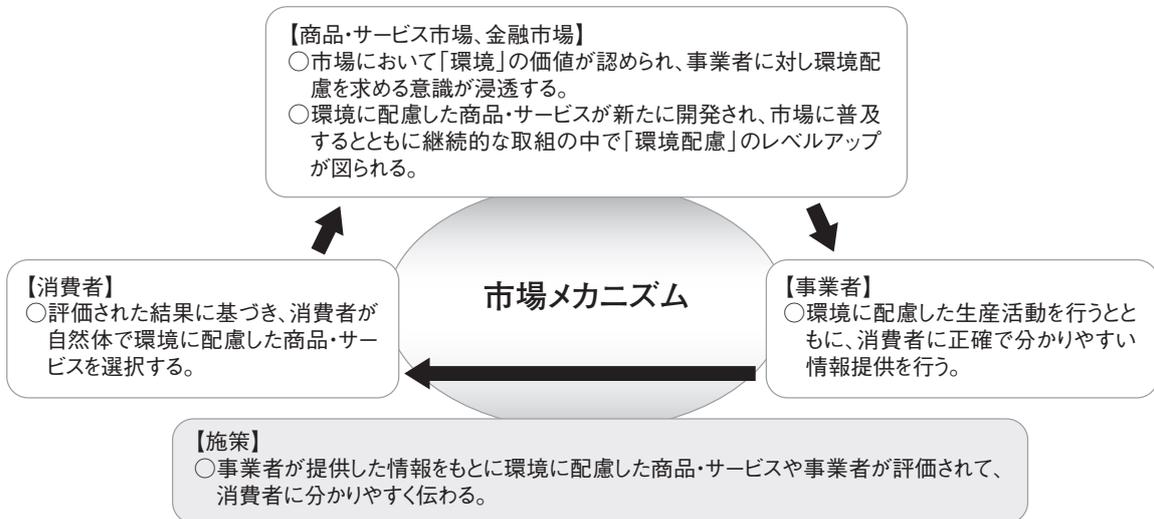
※制度の一本化による利便性向上のため、「国内クレジット制度」は平成25年度より、「J-VER制度」と統合され、「J-クレジット制度」として運用されています。



## 企業活動と環境コミュニケーション



## グリーン化された市場のイメージ



出典：グリーンマーケット+(プラス)研究会「市場の更なるグリーン化に向けて」

# 1 環境マネジメントシステム導入に向けて

2050年カーボンニュートラルの実現が求められている中、経済活動の大きな部分を占める企業においては、これまでの公害防止対策や法規制の遵守だけでなく、温室効果ガスの排出量の削減など、環境に与える影響をいかに少なくするかという観点からの自主的かつ積極的な取組が求められています。

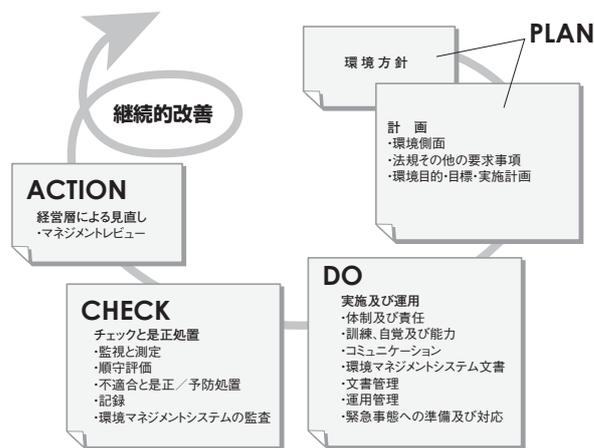
環境マネジメントシステムは、こういった社会の要請に応えるものであり、企業が環境保全と経済発展を両立していくための経営手法です。

## ●環境マネジメントシステムとは？

環境マネジメントシステムとは、企業における①経営方針目標の設定（PLAN）、②経営組織体制の整備、及び企業活動の推進（DO）、③実績評価（CHECK）、④経営方針などの見直し、推進（ACTION）という経営管理のための一連の体制・手続きを環境配慮という視点から構築しようとするものです。

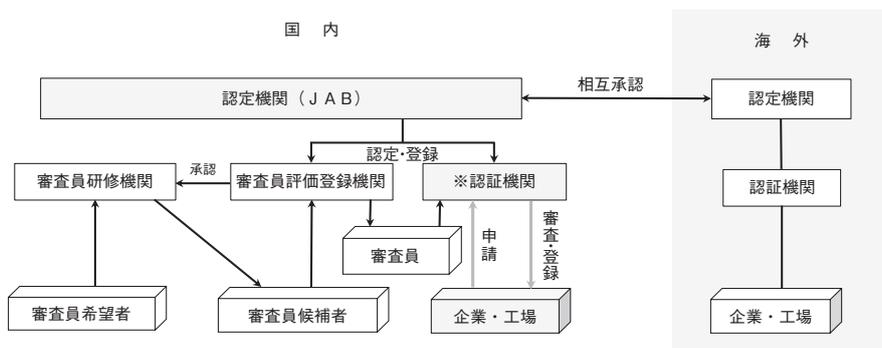
環境マネジメントシステムの代表的なものが、ISO14001の認証の取得です。

環境マネジメントシステムの概要



ISOの認証を受けようとする企業は、認証機関に認証審査の依頼をし、認証機関は当該企業が規格に適合した環境マネジメントシステムを運用しているかどうか審査し、適合していれば認証・登録します。

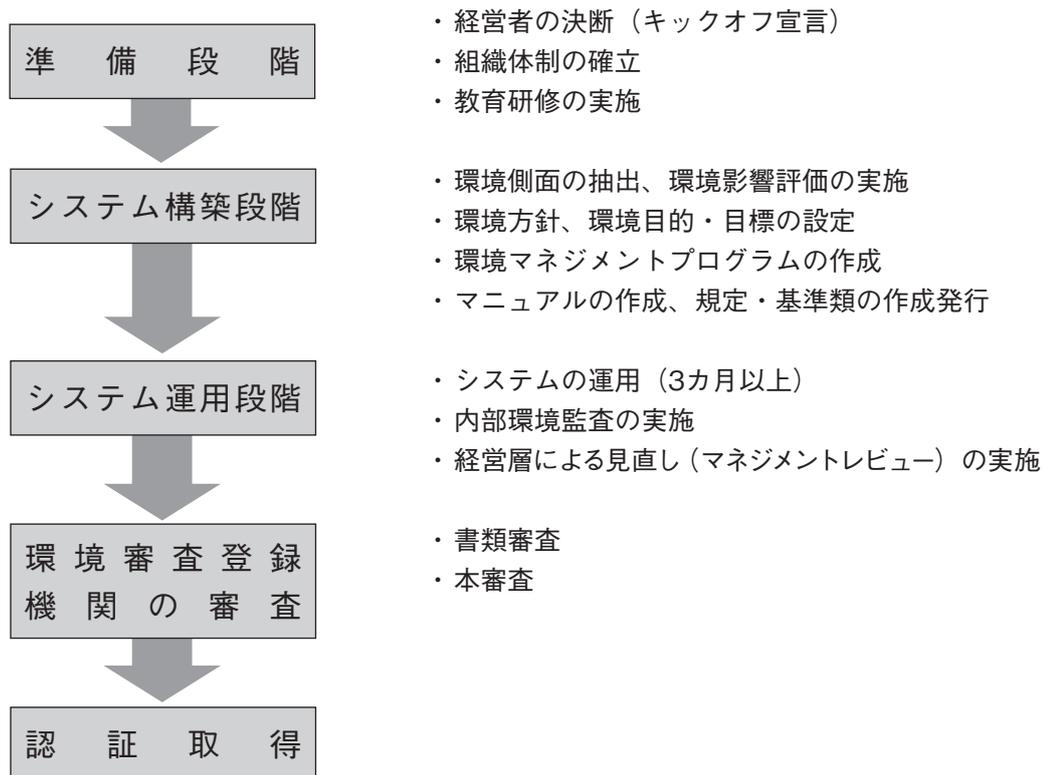
環境マネジメントシステム認証・認定の仕組み



※認証機関は、信頼性向上及び質の向上を確保するためJAB（(公財)日本適合性認定協会）のような認定機関の審査・認定を受ける必要があります。

## ●環境マネジメントシステムの導入手順

一般的な環境マネジメントシステム（ISO14001）の導入は、以下の手順で進められています。



## ●環境マネジメントに取り組むメリット

環境マネジメントにより環境保全の取組を進めていくことは、事業者の立場から見て、次のようなメリットがあると言えます。

- ・ 地域の環境保全につながる
- ・ 雇用や取引先などからの社会的な信頼性が向上する
- ・ 経営者、従業員にPDCAの考え方が身につく
- ・ 経費の削減につながる

(問合せ先) (公財) 日本適合性認定協会

<https://www.jab.or.jp>

日本マネジメントシステム認証機関協議会（JACB）事務局 <http://www.jacb.jp>

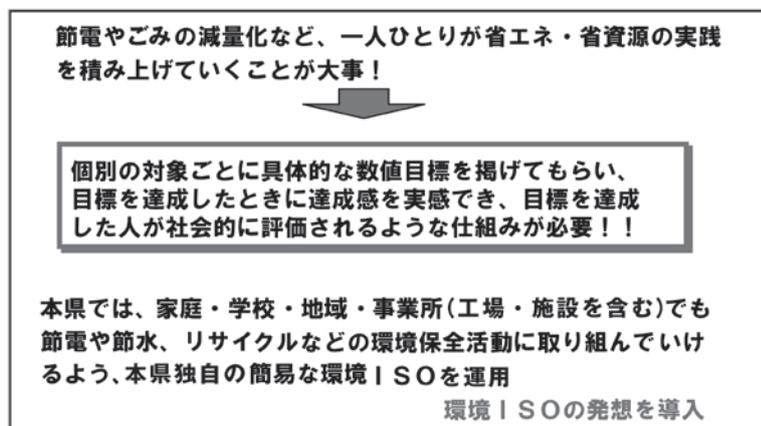
## 2 いしかわ事業者版（工場・施設版）環境ISO登録制度

地球温暖化は、全世界的な課題であると同時に、事業活動や日常生活と密接に関連する身近な課題でもあります。その解決に向けて、県民生活のあらゆる場面において、温室効果ガスの排出削減に向けた取組を進めていくことが必要です。

石川県では、すべての県民の方々に、日常生活の中で省エネ・省資源活動を実践していただくための、県独自の制度として、「いしかわ家庭版・学校版・地域版・事業者版環境ISO（以下、工場・施設版環境ISOを含む。）」の普及を進めています。

このうち、いしかわ事業者版環境ISOは、企業向け環境マネジメントシステムの認証制度であるISO14001（国際規格）やエコアクション21（国の規格）への入門編として策定されました。令和7年2月末現在で1,071事業所が登録し、環境保全活動に取り組んでいます。

### ●いしかわ版環境ISOのしくみ



### ●取り組みやすさの特徴

取り組みやすさの特徴として次のようなことが考えられます。

○企業・団体など対象が幅広い

- ・製造業や建設業、小売業、サービス業などの企業
- ・NPOなどの団体

○石川県への登録制度

- ・「いしかわ事業者版環境ISO登録事業所」「いしかわ工場・施設版環境ISO登録事業所」として県に登録
- ・登録期間は2年間（2年後更新）

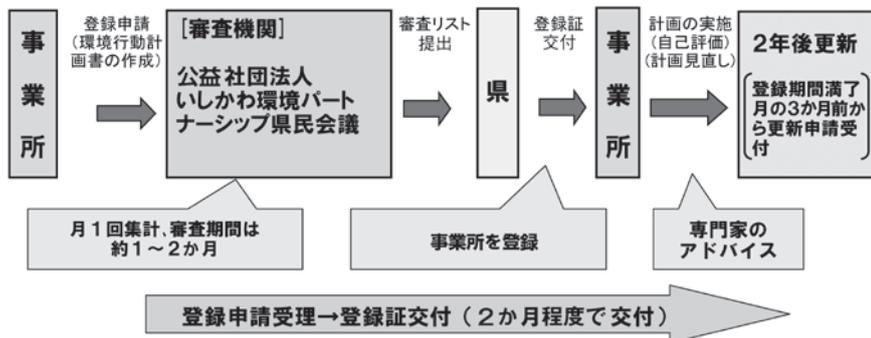
○簡単に環境マネジメントシステムに取り組める

- ・登録手数料は1事業所につき1万円（2年間）
- ・ISO14001やエコアクション21にステップアップするための入門編

○環境マネジメントの専門家からアドバイスが受けられる

## ●登録までの流れ

申請から登録までの期間が2か月程度と、他の環境マネジメントシステムに比べ短く、登録までの間も、環境マネジメントの専門家から適宜アドバイスを受けることができるなど、登録を目指す事業所をサポートする体制も整っています。



《いしかわ事業者版環境ISO ロゴマーク》

登録事業所は、このロゴマークを事業所のパンフレット、カタログ、社員の名刺等に表示することができます。

(問合せ先) 石川県カーボンニュートラル推進課  
(公社) いしかわ環境パートナーシップ県民会議

電話076-225-1469 FAX 076-225-1479  
電話076-266-0881 FAX 076-266-0882



## ●気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）

環境省では、気候変動の影響を受けやすいとされる業種が、TCFDの報告書で戦略の開示にあたり求められているシナリオ分析を円滑に実践できるようにするため、平成30年度から「TCFDに沿った気候リスク・機会のシナリオ分析支援事業」を実施し、支援事業における実例等を「TCFDを活用した経営戦略のススメ～気候関連リスク・機会を織り込むシナリオ分析実践ガイド～」として取りまとめています。

（参考資料）「環境報告のための解説書～環境報告ガイドライン2018年版対応～」

（環境省ホームページにあります）

（問合せ先）環境省大臣官房環境経済課

電話03-5521-8229 FAX 03-3580-9568

## 4 J-クレジット制度

1997（平成9）年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）で京都議定書が採択され、先進各国の温室効果ガス削減量の数値目標やその達成時期などが定められました。

日本は、2008（平成20）年度から2012（平成24）年度の第一約束期間中の温室効果ガス排出量を1990（平成2）年度比で6%削減する約束をし、その達成手段の1つとして、「国内クレジット制度」や「J-V E R制度」など国内版の各種排出量取引制度が創出されました。こうした取組の結果、京都議定書第一約束期間中の日本の温室効果ガス排出量は、1990年度比8.7%減となり、国際的な約束を果たすことができました。

「国内クレジット制度」と「J-V E R制度」は、利便性向上のため、平成25年度より「J-クレジット制度」に一本化され運用されることとなりました。ここでは、この「J-クレジット制度」についてご紹介します。

### ● J-クレジット制度とは？

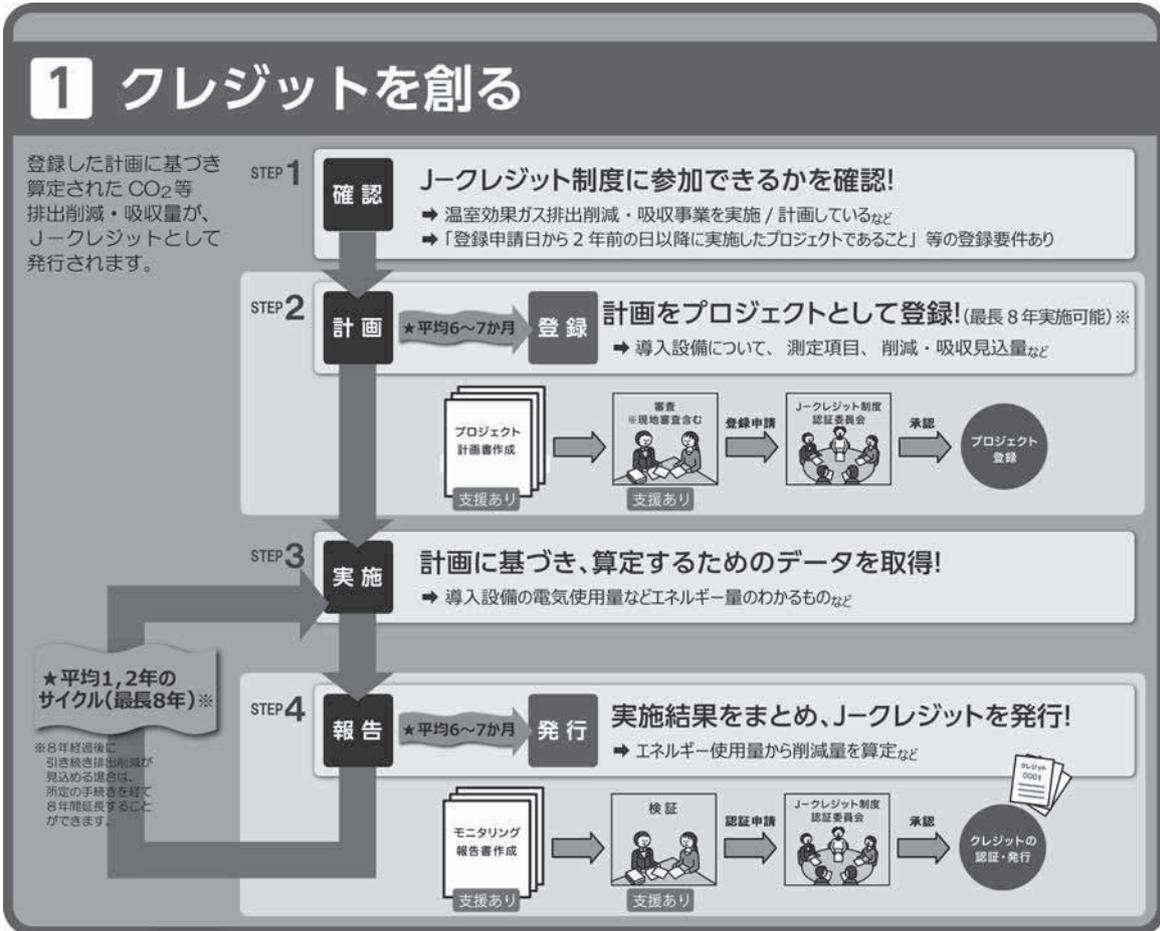
J-クレジット制度とは、省エネ・再エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。



### ● J-クレジット制度参加者のメリット

プロジェクト実施者 (クレジット創出者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①省エネルギー対策の実施によるランニングコストの低減効果</li> <li>②クレジット売却益</li> <li>③地球温暖化対策への積極的な取組みに対するPR効果</li> <li>④J-クレジット制度に関わる企業や自治体との関係強化</li> </ul>
クレジット活用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①温対法の調整後温室効果ガス排出量の報告</li> <li>②省エネ法の共同省エネルギー事業の報告</li> <li>③カーボン・オフセット、CSR活動(環境・地域貢献)等</li> <li>④CDP質問書及びRE100達成のための報告(再エネ電力由来のクレジットに限る)</li> <li>⑤SHIFT・ASSET事業の削減目標達成への利用</li> <li>⑥低炭素社会実行計画の目標達成</li> </ul>

# ● J-クレジット制度への登録・認証の大まかな流れ



### 3 クレジットを使う

活用方法や活用事例は、「活用方法」「取組方法」「マーク」「事業者名」で検索できます。ご参照ください。  
■J-クレジット制度HP：活用事例一覧  
[https://japancredit.go.jp/case\\_search/](https://japancredit.go.jp/case_search/)



#### 再エネ発電・再エネ熱由来のJ-クレジットはCDP質問書・SBTでの報告、再エネ発電由来のJ-クレジットはRE100達成のための再エネ調達量として活用できます

**CDPとは** 投資家向けに企業の環境情報の提供を行うことを目的とした国際的なNGO。気候変動等に関わる事業リスクについて、企業がどのように対応しているか、質問書形式で調査し、評価したうえで公表するもの。

**SBTとは** パリ協定が求める水準と整合した、5年～15年先を目標として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のこと。

**RE100とは** 事業活動で使用する電力を、全て再生可能エネルギー由来の電力で賄うことをコミットした企業が参加する国際的なイニシアチブ。

#### 温対法の排出量調整、電気事業者の排出係数調整に活用できます

温対法（地球温暖化対策の推進に関する法律）における排出量報告の調整に活用できます。また、電気事業者が、温対法の算定・報告・公表制度で公表される電気事業者別排出係数や、メニュー別の排出係数の調整に活用できます。



#### カーボン・オフセットに活用できます

環境への貢献PR、企業や製品の差別化、ブランディングに利用可能です。CO2を実質排出しない会議（オンライン含む）の実現のため、CO2排出量の算定ツールをホームページでご紹介しています。

カーボン・オフセットスキーム（How to）は、こちらをご参照ください。  
<https://japancredit.go.jp/case/scheme/>



## ● J-クレジット制度の手続支援

国や事務局では、プロジェクト登録に必要な「プロジェクト計画書」作成の代行、クレジット認証に必要な「モニタリング報告書」作成のサポート、第三者機関による審査費用の支援等を実施しています。

（参考資料） J-クレジット制度ホームページ（<https://japancredit.go.jp/>）

（問合せ先） J-クレジット制度事務局

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 環境エネルギー第2部

電話：03-5281-7588 E-mail：help@jcre.jp

## 5 環境にやさしい企業活動の事例①（リサイクル活動事例）

私たちの社会が持続的に発展していくためには、これまでのような資源の大量消費、製品の大量生産、ごみの大量廃棄といった社会経済活動や生活様式そのものを見直し、廃棄物の発生・排出抑制と資源の有効利用に積極的に取り組み、環境への負荷の少ない循環型社会を構築することが必要です。

そのためには、それぞれの企業において工程の見直し・改善等により、まず廃棄物の発生・排出を押さえること（発生・排出抑制）が最も大切です。その上で、これまで廃棄物としていたものを、できるだけ繰り返し使用し（再使用）、使用できなくなったものについては適正な処理を加えることにより再資源化し、原材料として利用する（再生利用）、あるいはエネルギー源として利用する（エネルギー回収）ことが重要です。これらの再生利用等を徹底するために、新たな技術開発や生産設備の改善等が望まれています。

県では、平成10年9月に「石川県リサイクル製品認定制度」を創設するなど、企業におけるリサイクルを推進してきました。平成21年12月には、新たに「環境にやさしい」という付加価値を盛り込むため、CO<sub>2</sub>排出量削減の観点から、認定要件に「環境負荷低減等に関する項目」を加え、「石川県エコ・リサイクル製品認定制度」に名称を変更しました。

### 石川県エコ・リサイクル製品認定制度について ●問い合わせ先 石川県生活環境部資源循環推進課

#### 認定マーク



一定の認定基準に適合するエコ・リサイクル製品を認定し、エコ・リサイクル製品の利用拡大とエコ・リサイクル産業の育成を図ります。

#### 対象製品

原則として石川県内で発生する循環資源（廃棄物等のうち有用なもの）を利用し、県内で製造加工され、販売されているリサイクル製品等

#### 事業場

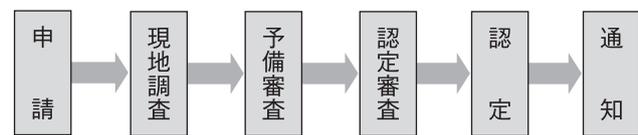
生活環境の保全に関する措置が講じられ、かつ、知事が認める環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21、いしかわ事業者版環境ISO、いしかわ工場・施設版環境ISO）を取得している事業場において製造加工される製品であること。

#### 事例

- 古紙を利用したトイレトーパー、事務用品（ファイルなど）
- 焼却灰を利用したコンクリート二次製品など
- 廃瓦などを利用した舗装材など

#### 認定審査

申請製品は、学識経験者等から構成される認定審査委員会で認可の可否について意見を聴取します。



〈石川県エコ・リサイクル認定製品一覧表〉（令和6年10月10日現在：48企業87製品）

区分	分類	製品名	再生資源	企業名	認定番号		
家庭・事務所	紙類	衛生用紙	エコトイレトーパー（各種）	古紙	株式会社製紙所	1	
		その他	KG CRAFT mask case	古紙	株式会社島商店	215	
	文具類	ファイル・バインダー類	古紙再生ファイル	古紙	キンコーズ・ジャパン(株)	234	
			古紙再生ファイル	古紙	加賀製紙(株)	24	
		紙製品	畳縁名刺入れ・畳縁カードケース	畳縁端材	株式会社中たみ店	190	
			I LOVE おもてなしファイル	和紙・水引・セロハンの端材	夢工房ナカシマ	226	
	その他	紙類	らくがき帳 バナナノート・ももノート	紙くず	㈱ダイトクコーポレーション	188	
		家庭用繊維製品	板紙（各種）	古紙	加賀製紙(株)	10	
			畳縁バッグ	畳縁端材	株式会社中たみ店	189	
		園芸用資材	学ランリメイクバック がくらん	学ラン	株式会社バトンタッチストア リクル	210	
			セーラー服リメイクバック セーらん	セーラー服	制服 バトンタッチストア リクル	211	
			畳材ミニぼうき	畳表の端材	株式会社中たみ店	221	
		その他	再生材料を使用したプラスチック製品	海を汚さない食器洗いクロス	珈琲豆麻袋	カエルデザイン(同)	227
				園芸用人工培土 グリーンピズK（カリユ-）	染色排水汚泥、廃瓦	小松マテール(株)	187
			その他	学習用木工セット ウッディキッズ	間伐材などの端材等	金沢森林組合	113
				廃木材・間伐材・小径材などを使用した木製品	匂い袋 能登ひばり	㈱アイ・ハース	192
				木質ペレット「かがベレット」	製材端材	㈱かがベレット木楽屋	198
				能登ひばりアクセサリー SOATE	能登ひばりの端材	K O Q	225
	海洋プラスチックアクセサリー			海洋プラスチック	カエルデザイン(同)	220	
	isica（猪鹿×いしかわ）シリーズ isicaのエコバッグ			獣皮	CRAFT WORKS ER	196	
isica（猪鹿×いしかわ）シリーズ isicaのコインケース	獣皮			CRAFT WORKS ER	197		
廃食用油を再生した軽油代替高純度バイオディーゼル燃料「ReESEL（リーゼル）」	廃食用油			㈱環境日本海サービス公社	199		
学生カバンリメイクアクセサリー ちゃっくん	制服・学生カバン	制服 バトンタッチストア リクル	213				
加賀麩アクセサリー OTEMAR I	廃棄予定の麩	金澤ふ細工 英	222				
織	その他	九谷焼アクセサリー i k i / 粋	廃棄予定の九谷焼	K O Q	224		
		テクスチャー入り装飾板ガラス	廃蛍光灯ガラス	㈱サワヤ	217		

区分	分類	製品名	再生資源	企業名	認定番号		
土	公共工事・資材	再生加熱アスファルト混合物	リビルドアスコン	フライアッシュ(下水道汚泥焼却灰)等	㈱金沢舗道	16	
		再生骨材等	オイスターアスコン	再生骨材、かき殻	大同開発㈱	203	
		コンクリート二次製品	KRC(フライアッシュのリサイクル路盤材)	KRC(フライアッシュのリサイクル路盤材)	フライアッシュ(石炭灰)	㈱トステック	181
			環境配慮型大型張ブロック	ソフィストーンR	フライアッシュ(石炭灰)	石川県コンクリート製品協同組合	141
			環境配慮型大型張ブロック	リーベル	フライアッシュ(石炭灰)	菱和コンクリート㈱(中日本営業所)	152
			環境配慮型大型水平積ブロック	グリーンビュー	フライアッシュ(石炭灰)	菱和コンクリート㈱(中日本営業所)	153
			環境配慮型大型水平積ブロック	エコグラス	フライアッシュ(石炭灰)	菱和コンクリート㈱(中日本営業所)	154
			環境配慮型大型水平積ブロック	エコグラス	フライアッシュ(石炭灰)	菱和コンクリート㈱(中日本営業所)	155
			護床ブロック	床張2号	フライアッシュ(石炭灰)	菱和コンクリート㈱(中日本営業所)	156
			環境配慮型擬石連結ブロック	KCF-ロック・ストンシリーズ	フライアッシュ(石炭灰)	共和コンクリート工業㈱北陸支店石川営業所	157
	水平張ブロック		KCF-大型平板	フライアッシュ(石炭灰)	共和コンクリート工業㈱北陸支店石川営業所	158	
	階段ブロック		KCF-ステップブロック	フライアッシュ(石炭灰)	共和コンクリート工業㈱北陸支店石川営業所	159	
	公共工事・目的物	透水性舗装	瓦廃材利用透水性舗装材	K-グラント(セメント固化・樹脂固化)	廃瓦	㈱エコシステム	9
			保水・透水性舗装材	かわら丸	廃瓦	㈱犀川組	62
			保水・透水性舗装材	かわら丸XX	廃瓦	㈱犀川組	63
			優士II	KS-1	廃瓦	エコジャパン㈱	143
			透水性舗装材	はえん土KS-1	溶融スラグ	エコジャパン㈱	191
		ブロック舗装	透水透水性瓦舗装材	グリーンピズ瓦コンクリート	染色排水汚泥、廃瓦等	小松マテール㈱	230
			超保水・透水性インターロッキングブロック	グリーンピズG(グラウンド)	染色排水汚泥、廃瓦、スラグ	小松マテール㈱	180
			超保水・透水性インターロッキングブロック	グリーンピズG(瓦タイプ)	染色排水汚泥、廃瓦等	小松マテール㈱	229
瓦廃材利用薄層舗装材			K-グラントコート	廃瓦	㈱エコシステム	99	
瓦廃材利用コンクリート舗装材			K-グラント(Co)瓦コンクリート	廃瓦	㈱エコシステム	144	
木	舗装材	瓦チップ・瓦砂	廃瓦	㈱エコシステム	173		
		土系舗装材	永土	浄水汚泥	㈱連代コンストラクト	114	
		磁器粉砕物利用薄層舗装材	N-グラントコート	廃棄食器	㈱エコシステム	219	
		粒状改良土	クリンス	浄水汚泥、建設汚泥	㈱田中建設	195	
		石灰系固化材	(TN-1)	廃石膏ボード、浄水汚泥	㈱田中建設	231	
	土壌構造安定化材	セメント系固化材	(TN-2)	廃石膏ボード、浄水汚泥	㈱田中建設	232	
		石膏系固化材	(TN-3)	廃石膏ボード、浄水汚泥	㈱田中建設	233	
		再生材料を使用したプラスチック製品	のり面吹付棒工用スプレーサー	廃プラスチック	㈱モアグリーン	29	
		廃木材・間伐材・小径材などを使用した木製品	木製工事標示板	木製工事くん	間伐材などの端材等	金沢森林組合	91
			修景連杭(円柱材)	エコ木柵	間伐材などの端材等	金沢森林組合	106
農業用ハウス「竹ドーム 竹ハウス」	エコ木製パネル		間伐材などの端材等	金沢森林組合	148		
海砂防用 竹ズ	放置竹林の孟宗竹		放置竹林の竹	NPO法人みんなの畑の会	223		
その他	生育基盤材		緑化生育基盤材	エコサイクルコンポ 石川	バーク	富士見工業㈱環境緑化事業本部金沢オフィス	80
		緑化生育基盤材	エコサイクルコンポ IN-90	バーク、家畜ふん尿(牛ふん)	富士見工業㈱環境緑化事業本部金沢オフィス	81	
		法面緑化材	万葉ソイル	バーク	北陸ポートサービス㈱	108	
		いしかわエコソイル	バーク	バーク	チューモク㈱	145	
		ゆうきひミックス石川	バーク、家畜ふん尿(牛ふん)	バーク、家畜ふん尿(牛ふん)	チューモク㈱	146	
	肥料・土壌改良材	万葉ソイルi	バーク	バーク	北陸ポートサービス㈱	149	
		法面マルチング材	木くず(チップ)	木くず(チップ)	㈱ランドスケープ開発	162	
		のと1号	木質廃材、家畜ふん尿(鶏ふん)	木質廃材、家畜ふん尿(鶏ふん、牛ふん)	㈱サンライフ	170	
		のと2号	木質廃材、家畜ふん尿(鶏ふん、牛ふん)	木質廃材、家畜ふん尿(鶏ふん、牛ふん)	㈱サンライフ	171	
		肥料	かんとりーすーばー河北湯	家畜ふん尿(牛ふん)、下水汚泥	㈱河北湯ゆうきの里	34	
造園緑化材	良質有機堆肥	クリーンバーク・クリーンマルチ	木くず(チップ)	クリーンリサイクル㈱	46		
	バーク堆肥	万葉バーク	バーク	北陸ポートサービス㈱	90		
	土壌微生物増殖資材「元樹くん」(2)	木くず(おがくず)	木くず(おがくず)	㈱立花造園	132		
	バーク堆肥	モックミン	樹皮、鶏ふん	金沢庭材㈱	166		
	堆肥「アイ・パワー」	食品残さ、もみ殻	食品残さ、もみ殻	㈱トスマク・アイ	202		
	牛ふんもみがら堆肥	BONEARTH(ボナース)	家畜ふん尿(牛ふん)、もみ殻	㈱河北湯ゆうきの里	209		
	防草土	スベッド	廃棄食器	ニッコー㈱	218		
	防草シール材	ミックスサンド	浄水汚泥、建設汚泥、廃瓦	㈱田中建設	194		
	橋梁・河川・港湾用材	魚礁・増殖礁	カルベース基質	瓦砂、再生骨材	中島建設㈱	207	
		シェルナース基質	かき殻	かき殻	海洋土木㈱北陸営業所	205	
				石川県漁業協同組合	206		

(問合せ先) 石川県資源循環推進課

電話 076-225-1849 FAX 076-225-1473

## 6 環境にやさしい企業活動の事例②（いしかわエコデザイン賞）

県では、県内の企業等を対象に、地球温暖化対策や生物多様性の保全などの環境対策をビジネスチャンスへの投資ととらえ、環境ビジネスの振興やエコな取組による地域の活性化につなげることを目的に、「いしかわエコデザイン賞」を創設し、環境保全に役立つ石川発の優れた製品やサービス等を表彰しています。

受賞製品・サービスには、エコデザイン賞のロゴマークを製品等に無料で表示できることとしているほか、県作成のパンフレットや、ホームページによるPR、「いしかわ環境フェア」での公開プレゼンテーションや展示などを通じて、広く周知を図るとともに、国のグッドデザイン賞への応募の支援を行っています。



## いしかわエコデザイン賞2024 受賞製品等一覧

### 〔大賞〕

#### 大賞〔製品領域〕

「**汚泥減容化バイオ製剤 ベリフォーマー ～Bellefomer～**」 **小松マテーレ 株式会社〔能美市〕**  
 排水処理場から排出される汚泥廃棄物を最大100%削減する微生物製剤。



#### 大賞〔サービス・建築領域〕

「**ライフサイクルCO2低減型オフィスビル**」 **株式会社 高屋設計 環境デザインルーム〔金沢市〕**  
 建設時から解体時までのライフサイクルCO2排出量を削減するとともに、木造のZEB化を目指す。



#### 大賞〔教育・社会活動領域〕

「**STONE STORY(ストーン ストーリー)石の文化を中心にした郷土教育プログラムの展開**」  
**小松市 地域おこし協力隊 九谷セラボ所属〔小松市〕**  
 九谷焼の原材料を使ったものづくりや、地元食材の収穫などの体験による「郷土教育プログラム」



### 〔金賞、銀賞、銅賞、その他特別賞〕

賞位	作品名	受賞者	概要
金賞 〔製品〕	廃棄物分別特化AI エンジン Raptor VISION	株式会社PFU	世界シェアNo.1のスカナー開発で長年培ってきた光学技術・画像認識技術を応用し、自社で開発した独自アルゴリズムの廃棄物分別に特化したAIエンジン
銀賞 〔製品〕	環境配慮型コンパクトCNC 旋盤 XTS-6	高松機械工業株式会社	従来のコンパクトモデルをさらに進化させたコンパクト旋盤。コンパクト化・省スペースによる省資源や廃棄物削減、その他機能面においても消費電力量削減。
銅賞 〔製品〕	小松市のお米(非食用米)を使った小松空港オリジナルお土産の開発	JA小松市・株式会社JALスカイ金沢 株式会社バイオマスレジマーケティング	JA小松市のお米の糊すり過程で発生する非食用米を使ったバイオマスプラスチック製の小松空港オリジナルのお土産。台紙デザインは、小松市民から公募。
里山里海賞 〔製品〕	皮膚科医と薬剤師とコラボした「能登ワイン石けん」	有限会社クリエイト	能登ワイン製造時の残渣を練り込んだ、厚生省届出の「化粧石けん」。皮膚科医が処方し薬剤師が1 つずつ手作り。無添加にこだわり、排水も環境に優しい。
金賞 〔サービス・建築〕	珠洲焼の破片と能登ヒバの倒木によるアロマセット	プロジェクトチーム つなぐ	能登伝統工芸の珠洲焼の破片を使ったアロマディフューザーと、能登ヒバの倒木から抽出したアロマオイルを組み合わせた製品を作り、産地の復興を支援する事業。
銀賞 〔サービス・建築〕	Buddy(相棒)プロジェクト ～環境×福祉で彩りある社会を～	株式会社トーケン	セラミック素材を活かした障がい者就労支援も兼ねた緑化サービス。
銅賞 〔サービス・建築〕	伝統産業に革新を起こす九谷焼のシェアリング	清峰堂株式会社	高額な工芸品をインテリアとしてレンタルする、サブスク型のサービス。廃棄、海外流出削減等、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会への貢献が可能。
里山里海賞 〔サービス・建築〕	食べて応援！能登まいもんフェア	北國観光株式会社	観光事業者から全国の宿泊施設にアプローチを行う農業従事者の販路拡大支援事業。規格外商品の野菜も使用し、消費ロスにもつながる。
里山里海賞 〔サービス・建築〕	農家民宿ととのや～里山を使った「楽しむためのリハビリ」に出会える宿～	一般社団法人 vitamin G	「楽しむためのリハビリ」をコンセプトに金沢医科大学の医師が設立した宿。野菜収穫や山道散策などの里山体験に、全国初のリハビリテーション医学を導入。
資源循環賞 〔サービス・建築〕	「すでに すてきに Re:craft」プロジェクト～Rotch(ロッチ)と Kimonoyarn(キモノヤーン)～	株式会社リクラ	「捨てるものを素敵なものに」アップサイクルする取り組みを行っているプロジェクト。廃棄ろうそくをアロマキャンドルに、使われない着物を糸にアップサイクル。
金賞 〔教育〕	健やかな心と体を育むオーガニック給食	つるぎっこ(学校法人鶴来学園)	鶴来学園の4園全てでオーガニック給食を提供。子ども達に日々の給食や畑やクッキングの活動の中で、食事の大切さや循環について伝える食育活動。
銀賞 〔教育〕	「Garbage Free City」ボードゲームによる環境問題意識向上作戦！	石川県立金沢泉丘高等学校 普通科普通コース2.3年探究班	世界が抱える自然環境問題について、若い世代が「遊び」を通して考えられる機会の提供を目指し、楽しみながら学べるボードゲーム「Garbage Free City」を作成。
銅賞 〔教育〕	「旅するごみ箱～海からつながる、ゴミ拾い～」 presented by 学生団体ぐるぐるラボ	金沢大学学生団体ぐるぐるラボ	環境問題を楽しく面白く解決に導くことを目的とした、海岸清掃活動。移動型ごみ箱やクイズを使い、楽しくなるように工夫している。
資源循環賞 〔教育〕	たのしくおいしくエコだいきせん！	とりごえ保育園	物を大切にすることを育むことを目的とし、コンポスト制作・使用、だし昆布の再利用に取り組んでいる。食品ロス削減も意識している。
パブリシティ賞 〔教育〕	世界へ旅する絵本ポートプロジェクト	親子の絵本 ワールドイン・いしかわ実行委員会	『絵本』を通じて、子どもたちの世界の海への興味と好奇心を高めながら、親子へ海を守るための自発的なアクションを促すプロジェクト。

〔問合せ先〕 石川県カーボンニュートラル推進課

電話 076-225-1469 FAX 076-225-1479